



1. 体育館いっぱい響き渡る力強い選手宣誓を行った荒井瑞祈さん 2. 後ろのランナーに抜かれぬようラストスパート！ 3. 次のランナーにたすきを託します「後は、まかせた！」 4. 走りながらも満面の笑みでピース！最っ高の笑顔でした 5. 全力で走りきり、ゴール！お疲れ様でした 6. 日ごろ町を守ってくれている消防団。今年も参加いただき、素晴らしい走りを見せてくれました。



町 の 話 題 P H O T O N E W S 利根町駅伝大会

どんよとした曇り空のなか始まった、第35回利根町駅伝大会。当日（2月16日（日））、会場となった利根中学校グラウンドには、昨年を上回るチーム数（計101チーム）が集まりました。時折激しい雨が降るなどのランナーにとっては走りづらい環境ながらも、日ごろの練習の成果を発揮し、熱い大会となりました。

また、沿道からはチームメイトや家族などの大きな声援が響きわたり、ランナーの力となっていました。

大会終了後、利根町産のお米を使用したおにぎりや豚汁が振る舞われ、冷えた身体を温めました。

成績発表！

女子の部

小学生
高野山小学校 S
(56分 04 秒)

中学生
湖北中女子
(55分 55 秒)

一 般
柏高校 B
(53分 37 秒)

男子の部

高野山小学校 S
(53分 34 秒)

柏豊四季 A
(1時間 27分 31 秒)

布佐走友会
(1時間 26分 40 秒)

シニア（男女混合チーム）…牛久走友会シニア（1時間 16分 57 秒）

常陽銀行で認知症サポーター養成講座を開催しました

2月17日（月）常陽銀行窓口終了後に行員の皆さんが受講しました。

今回の認知症サポーター養成講座は、日常生活と切っても切り離すことのできないお金の門番である銀行からの声掛けにより実現しました。認知症の症状である『忘れる』という記憶障害によりATMが使いこなせなくなったり、通帳の紛失や暗証番号忘れにより何度も窓口に来られる方、お金に関わるこれからの生活不安に対しての基本的な対応について、グループワークを交えながら熱心に議論を行いました。

常陽銀行でも、正しい知識と対応により、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを、各関係機関と連携を取りながら担ってくれています。

広報とね3月号の25ページ、「第10回布川一茶俳句大会」の記事中、当日投句の部に誤りがありました。
正しくは、「教育長賞 小春日に鐘の音なほも柔かし 池末和子」、「徳満寺賞 賑ひてをり小春日の地藏市 佐久間敏高」となります。訂正してお詫び申し上げます。

『いつ呼ぶの？救急車／もしもの時のAED導入編』開催しました



第5回利根地域医療講座として、稲敷広域消防本部利根消防署の救急隊および利根町国保診療所の小曾根医師、保健福祉センターおよび包括支援センターの連携により、第5回と

ね地域医療講座が開催されました。
今回は、利根町PTA女性ネットワーク委員の方を対象に行われ、町内小中学校のPTA20名が参加、救急車を呼ぶまでの寸劇やDVD視聴の後、実際にAEDの使い方について4グループに分かれて一人ひとり体験しました。初めての方も、久しぶりの体験の方も、積極的に質問、熱心に体験しました。

参加者からは、「倒れている人がいたら積極的に役立てたい」との心強い感想がありました。

英語のコミュニケーション活動を通して、英語力の向上！



茨城県教育委員会より感謝状を受領



授業研究会発表会の様子

昨年11月7日（木）、「茨城県小学校英語教育支援事業における実践マネジメント校」の指定校として、利根町立布川小学校において授業研究発表会（5年1組が授業公開）が行われました。利根町教育委員会が配置したALT（外国語指導助手）と学級担任がチームを組んで作り上げている英語の授業を、県南地区の小・中学校、高等学校の教職員約80名が参観し研究協議などを行いました。

子どもたちは緊張気味でしたが、次第に普段通りのいきいきとした活動をしていました。参観者からは「子どもたちが楽しそうに英語で会話している」「中学校でも参考にしたい」などの意見が多数聞かれました。

同校の功績が認められ、茨城県教育委員会より感謝状を受領し、利根町教育委員会海老澤勤教育長より同校仲田義弘校長へ授与されました。